

V. 特記事項

1. 開学以来 地域文化の向上に貢献してきた札幌大学公開講座

本学の公開講座は、本学開学の昭和 42(1967)年に北海道新聞社、北海道商工会議所連合会、北海道教育委員会、北海道経営者協会の後援を得て開催した「札幌大学特別教養講座」が前身である。当時は北海道新聞社ホールで開催していたが、昭和 55(1980)年からは本学を会場とし、名称を「札幌大学公開講座」とした。以来、地域市民が日常の暮らしを豊かに楽しむためのパソコンやスマートフォンの操作を実践するリテラシーに特化した講座や、北海道の歴史的建造物である札幌時計台を会場に定期開催した「時計台フォーラム」、また北海道の野生生物や自然環境をテーマに北海道森林総合研究所と共催した「合同講座」など、テーマや開催形態が多様かつ地域の特徴を活かしたものとして開催してきた。またいずれも北海道立生涯学習推進センターの事業である「ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ事業」（以下、道民カレッジ）と連携し、受講者が道民カレッジから単位認定を受けることのできる仕組みは、地域市民の生涯教育の一助となっている。コロナ禍を機に動画による発信手法をとったが、時間や距離の制約を受けず、受講者のライフスタイルにあった視聴が可能であることから、受講者の拡大に繋がった。今後も、本学の研究成果の蓄積を地域社会へ向けて還元し続けたい。

2. 過去 3 年の講座担当講師及び講座テーマ

公開年度	回数	講師	テーマ
令和3(2021)	第一回	時崎 久夫	言語の種類とリズム
	第二回	川上 淳	千島通史の研究
	第三回	アラン・ボゼア	The Labeling system: a unique method to help students write better essays in English (ラベリングシステム：英語でより良いエッセイを書くためのユニークなメソッド)
	第四回	中山 健一郎	「新興国における日系自動車企業の開発知の移転と協創の研究」 海外開発子会社の人材育成と人材開発
	第五回	武田 佑太	-文化・研究遺産としての歴史資料-
令和4(2022)	第一回	後藤 善久	可算名詞と不可算名詞の指導について -小学校、中学校、高校、大学をつなぐ指導-
	第二回	金 誠	帝国日本の朝鮮人メダリスト： 孫基禎（ソン・ギジョン）のライフヒストリーと 日本・朝鮮
	第三回	張 偉雄	日中文人の明治期 交友録
	第四回	土肥 崇史	寒冷環境と運動 末梢部の冷えに着目して
令和5(2023)	第一回	今井 康人	英語の発信力を強化するレッスン
	第二回	濱田 英人	日本語の感覚と英語の感覚の違いから見えてくる 英語の学習法
	第三回	武者 加苗	北海道における食・観光の研究